

兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 8 号)

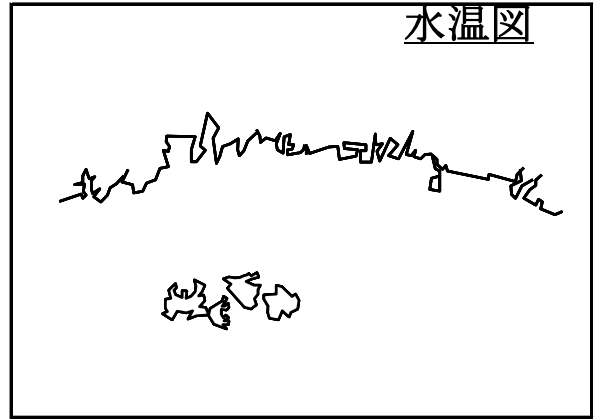
2021年12月28日発行
 兵庫県のみ研究所

海域全般に、栄養塩を消費する珪藻類は少ない状況です。しかし、赤穂漁場と沖合漁場東部では、スケルトネマが発生しています。そのため、窒素は赤穂漁場で $2 \mu\text{g-at/L}$ 前後、室津以東の地先漁場で概ね $4 \mu\text{g-at/L}$ 台でした。沖合漁場では、東部で $2 \mu\text{g-at/L}$ 台、西部で概ね $3 \sim 4 \mu\text{g-at/L}$ でした。

(栄養塩、珪藻)

西播地先では、網干でリンの値が特異的に高くなっている。また、家島・坊勢では、ワンドで硝酸態窒素の値が特異的に高くなっている。

赤穂漁場において、スケルトネマが大量発生(海水1mLあたり3500細胞前後)している。また、沖合漁場東部においてもスケルトネマが確認(海水1mLあたり100~200細胞)されるが、発生量は少ない状況である。



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	2.2	3.7	3.1	1.3
	リン	0.47	0.72	0.45	0.44
家島・坊勢	窒素	1.7	3.6	5.5	3.0
	リン	0.46	0.63	0.66	0.62

(12/15) ※西播地先は網干を除く (12/25)

栄養塩 (窒素) 図

2021年12月28日調査

